

# 枚方中国語を学ぶ会だより

2019年9月号  
枚方中国語を学ぶ会

## 好消息!好消息!

### 宮原葉子さん(上級II班)が中検準1級に合格されました

現在は上級II班に籍を置く宮原葉子さんが、6月に行われた中国語検定試験で、見事に準1級に合格されました。以下は宮原さんの喜びの声です。

「初挑戦だったので、まさか合格できるとは思わず、驚きと喜びが入り混じった気分です。

準1級の試験は相当難解で、予め時間をかけて試験対策をする必要を感じました。数年分過去問を解き、出題傾向を把握すると同時に、面接があるので中国語で会話する練習が必要です。一番大切なのは、過度に緊張せず、日頃の成果を出し切ることだと思います。

学習期間が長くなるにつれて、上達度合が必ずしも比例せず、意欲が低下しがちです。試験は向学心を再燃させる効果的な契機になると思います」



## ようこそ枚方中国語を学ぶ会へ

### 58人の参加で新入会員歓迎会

日中政府間の関係に改善の兆しが見え、中国語学習者数もやや回復するなか、6月19日(水)、枚方市民会館で、新入会員20人の参加を得て、新入会員歓迎会が開催され、全体で58人の会員・老師が参加しました。

西川会長の挨拶に続いて、入門班の新入会員(写真左)と他班への新入会員(写真右上)の一人ひとりが自己紹介と抱負を述べられ、会場いっぱいの熱烈歓迎の拍手が起こり

ました。

続いて、この一年間に中検やHSKなどに合格した人の表彰に移り、安藤昌子さん・久本禎俊さん(中検準4級)、塩見佐智子さん・清水友里子さん(中検3級)、宮原葉子さん(HSK6級)、東本強さん(中検2級)が表彰されました。

その後、井野顧問の音頭で乾杯し、懇親会に移りました。

各班のテーブルで、また班の枠を超えて交流が進む中、中級班の歌「月亮代表我的心」(写真右下)などをはじめ、入門班の「量词歌朗読」、初級班の「詩の朗読『水调歌头』」、上級I班の「中国語会社名・店名当てクイズ」、上級II班の「クイズ『この魚の名前は何か?一日中魚名比較』」の出し物があり、今や名物となった井野顧問の「南京玉すだれ」で会場は大いに沸きました。

あつという間の歓迎会でしたが、最後に、今西事務局長の「三本締め」で終了し、後片付けののち、各班での今後の「认真学习」を約して、会場を後にしました。

## 西川会長の 中国語余話⑬

### ‘边’の発音について

今回も発音です。

どの教科書、辞書を見ても、‘这边’‘那边’は‘zhèbian’‘nàbian’と轻声になっているのに、‘旁边’だけは‘pángbian’と‘边’が必ず第1声となっています。不思議じゃないですか?

これは単語の構造が違ってい

るからなのです。‘这边’‘那边’の‘边’は、‘桌子’‘椅子’の‘子’と同じ接尾辞なので一般に轻声で発音されます。ですから‘里边’も‘lǐbian’で轻声です。ところが、‘旁边’だけは、‘旁’も‘边’も「傍ら・わき」などの意味があるので、‘学习’のように同じ様な意味が二つ合わさった単語なのです。だから同じような意味を繰り返して、‘pángbian’と発音されるのです。ほんと厄介ですね。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_